

地元の小学生4人で

がんばって書いた文字が銘板に！

月見橋

つきみばし

余市川

平成24年8月完成

～一般国道393号 月見橋 銘板完成会～

9月27日(木)、赤井川村で「一般国道393号 月見橋 銘板完成会」が行われました。

小樽開発建設部では、一般国道393号赤井川村落合において、交通事故の防止対策として、道路幅を拡げてカーブを緩くする等の工事を行っております。

この工事で建設していた新たな橋梁「月見橋」の完成にあたり、橋に設置する4枚の銘板について、赤井川村立都小学校の児童に協力をお願いして文字を書いてもらいました。そしてこの度、出来上がった銘板の橋への取り付けが完了したことから、銘板披露と記念写真撮影を行ったものです。

当日の赤井川村は天気が良く、9月下旬ですが暖かい陽気の中での完成会となりました。

この日は、銘板の文字を書いた6年生4名を含む赤井川村立都小学校の全児童19名、教諭6名に参加していただきました。また、完成会には赤井川村の赤松 宏 村長も来ていただきました。



児童を乗せたバスが月見橋に到着



小樽開発建設部 小樽道路事務所の職員から月見橋の説明を聞きます



橋の銘板に掛けられた布をはがすと、自分たちが書いた文字が！



自分の書いた銘板の前で記念撮影
みんなとってもいい顔してますね♪



月見橋を全員で渡ります

子供たちは、自分の書いた文字がそのまま銘板になっていることに感激した様子で、「もっと練習すれば良かった」、「字数が多くて大変だった」などと話していました。他の子供たちも、「わーすごい！」と言ってうらやましそうでした。

質問コーナーでは「何人くらいで橋を造ったのですか」「橋はどうしてS字カーブなんですか」等質問し、回答を行った小樽道路事務所職員の話を実際に聞いていました。

最後にみんなで記念撮影を行い、完成会を終えました。

都小学校の19名のみなさん

